

なぜイノシシ・シカが出るの？  
鳥獣害対策 連続講習会  
in 西部丘陵地区

6月に開催した第1、2回講習会に引き続き、専門の講師を招き、地域ぐるみで鳥獣害対策を進めていくための方法を学ぶ連続講習会を開催します。多くの方の参加をお待ちしています（対象は町内在住在勤の方で、事前申し込みは不要です）。

【第3回】

内容 環境整備の実践  
日時 9月3日（日）  
13時～16時30分

場所 西久保地区（詳細はお問合わせください）

【第4回】

内容 環境点検（電気柵の点検など）  
日時 9月4日（月）  
9時～12時30分

場所 虫窪843-2



▲6月に行われた講習会の様子

問産業観光課 ☎内線262

「戦没者等の遺族に  
対する特別弔慰金」  
の請求を受付

戦没者などの死亡当時のご遺族のうち、平成27年4月1日現在において、公務扶助料や遺族年金などを受ける方（戦没者等の妻や父母等）がいない場合に、先順位のご遺族1名に支給される「第十回特別弔慰金（額面25万円、5年償還の記名国債）」の請求を、平成30年4月2日まで受付けています。

ご遺族の状況により、請求に必要な書類や条件が異なる場合がありますので、まだ請求されていない方はお問合わせください。

なお、請求の受付後、裁定結果のお知らせまでの手続きに期間を要しますので、ご了承ください。

※請求期間を過ぎると、特別弔慰金を受けることができませんので、ご注意ください。

問福祉課 ☎内線314

大磯港 みなとオアシス  
整備事業について



「みなとオアシス」とは、国土交通省の制度で、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するものです。「大磯港みなとオアシス整備事業」では、大磯港に「賑わい交流施設」を整備し、この施設を核として、人や情報の交流と賑わい創出を目指しています。

昨年度、この「賑わい交流施設」の整備コンセプト、施設規模などの考え方について検討し、「大磯港みなとオアシス整備計画基本構想」をまとめました。

この基本構想は、町ホームページ、町民情報コーナーに配架していますのでご覧ください。

今後、この基本構想に基づき、平成31年度中の賑わい交流施設の完成を目指し、整備を進めてまいります。

今後の整備事業にご意見がございましたら、8月18日（金）までにご連絡ください。

問産業観光課 ☎ (61) 5719

おおいそ廃棄物減量化等推進員の紹介

おおいそ廃棄物減量化等推進員は、ごみの減量化・資源化の普及啓発やごみの分け方、出し方の指導などについて、地域のリーダーとなって活動していただいています。

町ではごみ問題に理解と意欲のある方で、地区から推薦された次の25名の方をおおいそ廃棄物減量化等推進員として委嘱しています。

○地区推進員

曾根田 市江	(高麗)	成瀬 秀樹	(北本町)
上田 壽明	(東町)	川本 亮治	(北下町)
西ヶ谷 修司	(長者町)	笹尾 のり子	(南本町)
前川 芙智子	(山王町)	鈴木 實	(南下町)
早坂 真奈	(神明町)	池田 みどり	(茶屋町)
今井 妙子	(神明町)	神田 望	(裡道)
		梅田 詔一	(台町)
		戸塚 澄子	(西小磯東)
		笠間 友博	(西小磯西)
		小島 雄二	(中丸)
		中村 輝夫	(馬場)
		本田 和宏	(国府新宿)
		山口 明男	(月京)
		山口 富夫	(生沢)
		杉崎 正人	(寺坂)
		土方 章子	(虫窪)
		守屋 智	(黒岩)
		卯月 健雄	(西久保)
		藤田 晋也	(石神台)

問環境課(美化センター内)  
(72) 4438